

入場無料

講演会やいろいろなコーナーに
参加して景品をGETしよう！

WFD World Food Day 2019

世界食料デーとは

毎年10月16日に世界の食料問題を考える日として国連が制定した日

世界食料デー 第2回横浜大会



ちきゅう大家族

～75億人の食卓～



この地球に暮らす全ての人と同じ空を天井に
大地を食卓にしている「ちきゅう大家族」です。
家族のために自分にできることは何か考えてみよう！

わたしから始める、世界が変わる

えみなみなみ

10 / 12 土

於 横浜市栄公会堂

- 10:30-16:00 展示、体験コーナー
 ＊ハンガーゼロ、ポリビア大使館 等のブース展示
 ＊世界の子ども絵「毎日食べているもの」の展示
 ＊ハンガーバンケット（世界の食料格差を体験するコーナー）
 ＊子どもたちの体験ルーム 等
- 13:00-15:00 特別講演（ハンガーゼロ ポリビア駐在スタッフ 小西小百合氏）、
 ゴスペルコンサート、ポリビア民族ダンス

後援 国連食糧農業機関駐日連絡事務所、在日ポリビア多民族国大使館、
 独立行政法人国際協力機構（JICA）横浜センター、
 横浜市教育委員会、横浜市栄区

共催 一般財団法人オアシス 世界食料デー 横浜大会 実行委員会
 一般財団法人日本国際飢餓対策機構（ハンガーゼロ）

Hunger Zero

あなたの1食分を 食料デー募金に

～下記の活動などに使わせていただきます～

- Indonesia** インドネシア
母子栄養改善
- D.R. Congo** コンゴ民主共和国
共同農園・家畜飼育支援、地域リーダー育成
- Kenya** ケニア
学校トイレ・貯水タンク支援
- Philippines** フィリピン
子ども教育支援、地域リーダー育成

国連の持続可能な開発目標 (SDGs)
Hunger Zeroはチャレンジします

ハブラシ・ハガキで寄付！

当日会場で使用済ハブラシ（電動ハブラシ、天然毛は不可）や書き損じのハガキを回収します。回収したものは、飢餓・貧困に苦しむ人々への募金となります。

世界食料デーとは…

「世界食料デー」とは、世界の食料問題を考える日として、国連が制定した日です。

1979年の第20回国連食糧農業機関（FAO）総会の議決に基づき、1981年から10月16日が「世界食料デー」に制定されました。

世界の一人ひとりが協力し合い、最も重要な基本的人権である「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる栄養不足、飢餓、極度の貧困を解決することを目的としています。この日をきっかけにして、自分の生活を見つめなおし、世界の人々と「共に生きる」生き方を実践しようとする人々が増やされていくことが「世界食料デー」の願いです。

10:30~16:00 ホワイエ・会議室では…

- ★ ブース展示（ハンガーゼロ、ボリビア大使館 等）
- ★ 世界の子供の絵「毎日食べているもの」の展示
- ★ ハンガーバンケット
（世界の食事格差を体験するコーナー）
- ★ 子どもたちの体験ルーム 等

楽しい体験ブースや
展示コーナーがあります！

使い古しの歯ブラシや
書き損じのハガキを
持ってきてくださいね！
（募金の一部となります）

13:00~15:00 のステージでは…

- ★ 小西小百合氏による講演
ボリビアに派遣されているスタッフの生の声をお届けします！
- ★ Hongodai Sound of Joy ゴスペルクワイヤー、
Sound of スマイル ゴスペルクワイヤーの演奏
- ★ ボリビアの民族ダンス

13:00~ 講演①

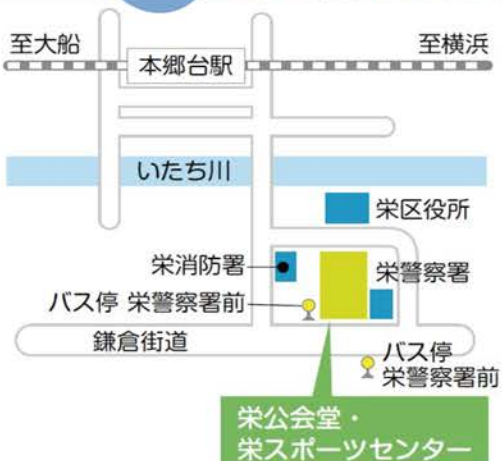
13:40~ ゴスペルクワイヤー演奏

14:10~ ボリビアのダンス

14:25~ 講演②

14:55~ 合同ゴスペルクワイヤー演奏

講演会やいろいろなコーナーに参加して景品をゲットしよう！！



栄公会堂へのアクセス

横浜市栄区桂町 279-29

JR 根岸線 本郷台駅 歩 9分

有料駐車場あり



小西小百合（こにしさゆり）

プロフィール

1961年兵庫県生まれ。兵庫県武庫川女子大学卒業後、10年間大阪府下の公立中学校にて社会科と保健体育教師として働き、その後退職。

ハンガーゼロスタッフとして、1996年より3年間、カリブ海地域・ドミニカ共和国で教育指導コーディネーターとして、

5つの公立小・中学校にて体育教育を指導。

2000年から4年間はベネズエラ共和国リマ市郊外のスラムで世界里親会（現：チャイルドサポーター）スタッフとして働く。

2006年からボリビア多民族国に移り、現在ハンガーゼロ支援地域アドバイザー、人づくりコーディネーターとして活動中。